

頑張る春

二〇一一年が、皆さんにとって仕事や暮らしの見通しが開け、先行きの展望が持てる年となる事をお祈りしながら、政治の前進を切り開くべく頑張る決意です。

今年四月に、川西町議選など、統一地方選挙が行われます。日本共産党は、県会に6名、そして、私、『芝かずや』を含め、県下4市11町1村で29名を擁立する事を第一歩として記者発表しています。

私は、川西町政を一步でも二歩でも前へ進めるべく、皆さんの声が直に活かされる

町づくりのために、住民が気軽に参加できる、町長らとの「まちづくり懇談会」の開催や、デマンドタクシーなど、ドアからドアへの移動手段として便利に活用できる「地域交通の立ち上げ」、中学校卒業までの医療費無料化や各種のワクチン接種助成など「子育て支援策の拡充」等々、住民の皆さんの意に添い願いに応える身近で役立つ川西町を目指しまして、皆さんと力を合わせて頑張ります。

どうか、変わらぬご支持ご支援、より一層のお力添えをお寄せ下さいますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

川西町議会議員 芝 和也

住民参加の町づくりを



川西町議会議員

日本共産党 芝 和也

略歴 奈良県立吉野高等学校建築科卒業
 奈良県経済農業協同組合連合会勤務
 1991年4月 川西町議会議員に初当選(現在5期目)
 町議会副議長・議会運営委員長・各常任委員長など歴任
現在 川西町議会 厚生委員・議会運営委員

住民の願いに応え 相次いで意見書可決

町議会では、住民の声に応え芝和也議員が提案したり、住民団体などから陳情された、国や県への意見書がこの間、相次いで可決されています。9月議会では、県立野外活動センターの存続を求めたのをはじめ、農家の応援策を求めるものが、12月議会では、社会保険病院の存続法案の成立を求めるものと、30協定への参加反対を求めるものなどが出席議員全員の賛成で採択されました。

9月議会意見書

『米価の大暴落に歯止めをかける為の意見書』(陳情分)
 国が過剰米を買い取る事により、生産者価格の安定が保たれることから、それらを保証するために実施を求めたものです。
 『免税軽油制度の継続を求める意見書』(陳情分)

現行法では、2012年に同法律の期限を迎えるので、農家等の経費節減に有効に働いている同法律を継続させ、トラクターなどの軽油取引税の免税措置存続を求めたものです。
 『野外活動センターの存続を求める意見書』(芝議員提案分)

県は、吐山の野外活動センターの老朽化に伴い、本館機能等を廃止し、レジャーキャンプ場と

12月議会意見書

『奈良社会保険病院の公的存続法案の早期成立を求める意見書』(陳情分)

郡山にある奈良社会保険病院等を、公的病院として残す為の法制化を求めたものです。

『TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加反対を求める意見書』(芝議員提案分)

この協定の意味するところは、関税の完全撤廃であり、我が国の食料自給はもとより、雇用や経済に大打撃を被る事から、政府に協定への参加反対を求めたものです。

サポーター募っています！

芝かずやと一緒に一歩でも二歩でも住みよい川西町を築いていきましょう(^o^)/皆さんと力を合わせて頑張ります。

◎ニュースやピッ配布のお願い

川西民報(町政報告)や、赤旗号外(共産党のピラ)、後援会ニュース等を各ご家庭のポストへ投函していただくご協力をお願いします。

◎お問い合わせ先をご紹介ください

どんな集まりでも結構です。場所や人数は問いません。議会報告並びに、町政に対するご要望等をお伺いに参加します。

◎配布の準備をお願いします

配布するニュースを折り曲げたり、二種類以上のピラを組み合わせたたり、仕分け作業などを手伝って下さい。

◎宣伝カーのアナウンスや運転

街頭演説時の宣伝カーのアナウンサー(原稿は用意してあります)です。カラオケが好きな方は向いていると思います。何がしの共通部分があるようですよ。

◎ポスター掲示のお願い

ご自宅の外壁やフェンスなどへ、共産党の政策ポスターや演説会告知ポスター、赤旗写真ニュース等の掲示にご協力ください。

何かかでもご協力いただけましたら、ご連絡ください。町会議員 芝 和也

0745-43-2415 メール info@k-shiba.jp

デマンドタクシーとは

タクシーの便利さをバス並みの料金で実現するシステムです。

予約に合わせて、自宅や外出先に車が迎えに来てくれて、運行区域(町内)内の行きたい所へ運んでくれる便利なサービスです。

それは、予約の電話から始まります

利用者は、予約センターに電話で利用時間帯と目的地を告げ、予約をします。車は乗り合う人を時間に合わせて順に迎えに行き、全ての人を目的地まで送ります。

デマンドタクシーは、通常のタクシーとは異なり、他の人も乗り合って目的地に送迎するサービスです。

交通費の負担も低料金(例：300円～500円程度)で、住民が気軽に利用のできる交通システムです。

お願い 国民健康保険税の引き下げと制度の充実を求める県への請願署名にご協力よろしくお願ひします。

町の規模を活かして、住民参加の町づくりを

日本共産党の芝和也議員は、この間の九月議会や十二月議会の一般質問を通じ、住民参加のまちづくりを進めるべく、川西町の規模を活かした取り組みとして、自治会ごとに関く、住民が自由に参加できる『町づくり懇談会』の開催。各種ワクチンの助成制度の創設。住民の移動手段を確保するべく、乗り合いタクシー形式の地域交通の立ち上げ等を求め、上田町長と議論を重ねています。

芝和也議員は、先の12月議会等で、この間掲げている、住民参加のまちづくりに向けた町政懇談会の開催や、昨春から始まったヒブワクチン補助に加えて懸案の子宮けいがんワクチンや肺炎球菌ワクチンへの手だて。それから、デマンドタクシーなどの地域交通の確立等々を求めて上田直朗町長と議論を重ねてきました。

まず、ワクチン関係で上田町長は、新年度からの助成措置は前向きに考えているとしながらも、具体化はこれからで、対象がどうなるかはまだ定かでは無いとしました。ただ、昨春からのヒブワクチン対策に加えて子育て支援策としてこれらの取り組みが拡充される事は間違いありません。また、先の臨時国会で国がこれらの取り組みを年度内に実施する方向で予算化した事により、1月の中頃か2月に

かかるかはまだ明確では有りませんが、県医師会等と調整が付き次第、新年度を待たずに助成措置が始められます。手続きが完了次第、ワクチン接種の対象となる皆さんへは、町から案内が送られます。まちづくりに向けた取り組みとして自治会ごとに関く町議員が提案しているのに対して上田町長は、当面は自治連合会などの団体レベルとの懇談に留め、直に住民が参加する形態は執らない意向を示し

ました。芝和也議員は、川西町の規模からして毎月二ヶ所程度の開催で、年間では各々の自治会毎にこうした懇談会を開く事が十分可能として、町の特徴を活かした取り組みを求めました。それらから、懸案のデマンドタクシー等の地域交通について上田町長は、先の9月議会で検討委員会の立ち上げを表明しましたが、未だ至っていません。それは、どう言う規模や対象で実施するべきかなどの構想がまともにない事や、住民のニーズがどの程度か把握していない等、はっきりさせていないので慎重を期しているとの事です。これらを明確にするためにも、住民の皆さんが直接参加できる懇談会の開催が尚の事求められています。

芝和也議員は、先の12月議会等で、この間掲げている、住民参加のまちづくりに向けた町政懇談会の開催や、昨春から始まったヒブワクチン補助に加えて懸案の子宮けいがんワクチンや肺炎球菌ワクチンへの手だて。それから、デマンドタクシーなどの地域交通の確立等々を求めて上田直朗町長と議論を重ねてきました。